

赤田工業株式会社

Pick Up!

平成27年度

■事業計画名

最新レーザー加工による、真空容器の溶接前部品の加工時間の短縮

■概 要

真空容器とは、生産工程で真空状態が必要とされる時に、用いられる容器である。

製造流れは、材料入荷、溶接前加工、溶接、溶接後加工、気密検査となる。

溶接前加工において、部品の形状合わせを切削加工からレーザー加工に変更して、加工時間を短縮する。

■分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術
＜事業類型＞ 高度生産性向上型
最新モデル

■成 果

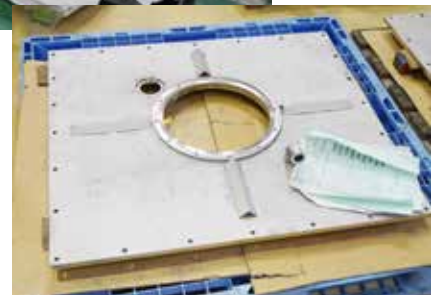
溶接前加工において、部品の形状合わせを切削加工からレーザー加工に変更して、加工時間を短縮できた。

導入した設備は主として自社製品（セミオーダー製品）の加工に使用しており、公的機関・民間の研究所を中心に売上は増加している。

ネット受注に一層注力して海外市場開拓にも取り組んでいく。



真空チャンバー
(左：ケース部、
右：フタ部)



平成29年度

□事業計画名

既存複合加工機の改良による、真空容器の蓋の加工時間短縮

□概 要

真空容器とは、生産工程で真空状態が必要とされる時に、用いられる容器である。蓋の製造流れは、材料入荷、溶接前加工、溶接、溶接後加工、気密検査となる。

溶接前後の加工に、改良複合加工機を使用して加工時間、測定時間を短縮する。

平成30年度

□事業計画名

既存5面門型マシニングセンターへの付加軸装置追加による真空容器本体の総加工時間短縮

□概 要

真空容器とは、生産工程で真空状態が必要とされる時に、用いられる容器である。容器本体の製造流れは、材料入荷、溶接前加工、溶接、溶接後加工、気密検査となる。

既存機械では、溶接後の複雑な容器本体の加工に専用段取り具が必要であり、段取りと加工に時間が掛かった。付加軸装置追加により、専用段取り具を無くし、段取りと加工の総時間を大幅短縮する。



鉄の料理人（国家検定技能士一覧）

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

赤田工業株式会社（池田町）

溶接、切削の技能と真空技術を生かした
真空容器のネット販売で国内外に存在感。

多くの大学、研究機関等にも製品を供給

自社ブランドの真空容器（真空タンク、真空チャンバー）を中心に、省力機械・専用機械のフレーム・架台等の製造を手がける、赤田工業。1889（明治22）年に鉄工所として創業以来、溶接加工、切削加工の技能を磨き、さまざまな製品を手がけてきました。



真空チャンバー

同社に転機が訪れたのは平成に入って数年後。出展していたテクノフェアで、ある企業から相談を持ちかけられ、未知の分野だった真空容器を手がけたのです。これをきっかけに真空技術を追求、真空容器を同社の主力製品にまで成長させてきました。

超高真空が求められる電子顕微鏡や、半導体・液晶業界で欠かせない蒸着装置など、製品のほとんどが一品料理。半導体・液晶、自動車、医療、航空宇宙、化学・薬品、食品など産業界はもとより、多くの大学、研究機関等にも供給しています。

真空容器は低真空から超高真空まで各レベルに対応し、フレーム、架台などは大型が得意。しかも用途に応じて、鉄、ステンレス、アルミニウム、鋳物など素材も板厚も問わず、溶接、削り出しの



フレーム

加工が可能。その強みを生かす設備投資を積極的に行い、材料調達から加工、テストまで社内一貫生産できる体制を構築しています。

インターネット販売に注力

同社は国内外に受注を広げていますが、その最大要因がインターネット販売への注力。

「お客様からポンチ絵を送っていただくだけで手早く真空容器がつかれる。それが評判を呼び、専用サイトからの受注が増えています」と赤田弥寿文社長。「真空タンク」「真空チャンバー」のキー

ワード検索で1～2位を獲得し、成約率は30%前後に上ります。さらに納期短縮、原価低減に力を入れ、ネット販売で月400万円の受注を目指しています。

同社では今後の需要の高まりを見据え、平成27年度補正のものづくり補助金を活用し、3次元レーザー加工機を導入。はめ合わせ作業など手作業に頼っていた工程をなくすとともに、熟練工に頼る加工からの転換を図り、より精度の高い加工を可能にしました。

「溶接、切削の技能と真空技術をコアに、『赤田工業といえば真空チャンバーと大型を中心とするフレームだ』とアピールしていきたい。そのためにもCAD/CAM+AIによる生産工程の標準化に取り組んでいきたい」と赤田社長は力を込めます。



3次元レーザー加工機

人材育成にも並々ならぬ力を入れる同社では、入社1年未満、パート社員を除く社員の97%が国家技能検定技能士資格を保有。これも全国トップレベルを誇ります。



赤田工業株式会社

代表 代表取締役社長 赤田弥寿文
設立 1964（昭和39）年8月
資本金 1,000万円
従業員数 51名
本社 北安曇郡池田町大字会染6108-75



TEL.0261-62-2235 FAX.0261-62-9071
事業内容 各種省力機械、専用機、自動機の製造、真空チャンバー、耐圧容器の製造、半導体及び液晶製造装置の製作、油圧機器及び装置、各種治工具の製作、小物～大物の機械加工、板金加工、各種溶接（鉄、アルミ、ステンレス）

<https://www.akada.jp>